
「進行肝細胞癌に対する外科的治療介入の実態と成績調査」に関するお知らせ

このたび、当院で手術を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【国家公務員共済組合連合会虎の門病院 研究倫理審査委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2009年1月1日 ～ 2023年12月31日の期間に

【埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科】に入院・通院し、手術を受けられた方

2. 研究の目的

進行肝細胞癌に対する我が国の外科的治療の実態を明らかにし、予後データから治療成績を明らかにします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年10月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年12月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、背景肝疾患、血液生化学データ、腫瘍マーカー、腫瘍数、腫瘍径、腫瘍局在、周術期治療の有無と詳細、薬物治療を行った場合は奏効の有無、肝切除回数、切除術式、手術時間、出血量、輸血の有無、術後合併症、術後在院日数、無再発生存期間、再発形式と治療、全生存期間

※この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター】において、研究責任者である竹村信行が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

過去の診療で記録された肝細胞癌患者さんの術前データ、治療・予後データ。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・ 虎の門病院 消化器外科（肝・胆・膵） 部長 進藤 潤一（研究代表者）

・ 研究代表者 虎の門病院 消化器外科（肝・胆・膵） 部長 進藤 潤一

・ 分担研究者 虎の門病院 消化器外科（肝・胆・膵） 医長 松村 優

・ 分担研究者 虎の門病院 消化器外科（肝・胆・膵） 医長 大久保 悟志

4. 試料・情報の管理責任者

試料・情報の授受を行う場合

＜提供元機関＞【埼玉医科大学総合医療センター】 病院長 別宮好文

＜提供先機関＞【虎の門病院】

5. 試料・情報の提供方法等について

診療情報は埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、暗号化したファイル形式で虎の門病院消化器外科（肝・胆・膵）へ提供致します。

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

【相談窓口】

埼玉医科大学総合医療センター 肝胆膵外科・小児外科 竹村信行

住所：〒350-0844 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3620（土日祝日を除く 9：30～16：30）

【研究全体に関するお問い合わせ】

○研究課題名：進行肝細胞癌に対する外科的治療介入の実態と成績調査

○研究責任（代表）者：虎の門病院 消化器外科（肝・胆・膵） 進藤 潤一

○電話 03-3588-1111(代表)